

令和3年度スポーツ庁委託事業

令和3年度

「Specialプロジェクト2020（特別支援学校等を活用した  
地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」

成果報告書

令和4年3月

NPO法人しいだコミュニティ倶楽部

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、NPO法人し  
いだコミュニティ倶楽部が実施した令和3年度 Special2020  
(特別支援学校等を活用した障害者スポーツの拠点づくり事  
業)の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の  
承認手続きが必要です。

## 目次

### I 事業の概要

#### 1. 事業実施の趣旨

福岡県立築城特別支援学校の体育等の時間において障害者スポーツ指導者を派遣することにより、在籍児・者がスポーツの機会・内容の充実及び、パラリンピック種目や競技性の高い障害者スポーツに触れることができるようにする。

また、障害者スポーツを通じて指導者の量的整備に努めるとともに、健常者と障がい者が一緒になった交流大会を開催し地域住民との交流を図り、相互理解を深める。

併せて、築上町では「町」として全国で初の「共生社会ホストタウン」に登録され、健常者・障がい者の垣根を無くし、誰もが安心して快適な生活を送ることができる街づくりを目指していることから、NPO法人しいだコミュニティ倶楽部として町と一緒にあって共生社会の実現を目指しました。

#### 2. 事業の実施期間

令和3年7月2日から令和4年3月25日

#### 3. 事業内容

##### (1) 障害者スポーツ推進実行委員会の開催

障害者スポーツの普及に向け、成果と課題改善を協議し、関係団体と連携により普及啓発に取り組みました。

##### (2) 築城特別支援学校を会場としたスポーツ屋台村の開催

学校では体験では体験できない、ニュースポーツの楽しさと良さを味わう体験を通じて、幾度もチャレンジするなど自分の力を発揮しようとする力の育成に努めました。

##### (3) 障害者スポーツボランティアスタッフ養成講習会

講義や実技体験を通じて町民が障害者スポーツの理解や基本的な知識を学び、スタッフの量的整備に繋がった。

##### (4) ボッチャ講習会

ルールについて講義やゲーム&審判体験、ミニ大会を実施した。

##### (5) みんなで楽しむ地域のスポーツ大会

健常者、障がい者が一緒になって、ボッチャ交流大会を実施した。

#### 4. 事業実施日程

#### 実施日程表(実績)

実施時期	実施事項			
	(1) 実行委員会	(2) 講習会	(3) ニュースポーツ体験教室	4) みんなで楽しむ地域の交流大会
7月2日	実行委員会			
7月10日 ～11日		障がい者スポーツボランティアスタッフ養成講習会		
12月10日			スポーツ屋台村	
12月12日		ボッチャ講習会		

12月13日			スポーツ屋台村	
3月20日				ボッチャ交流大会
3月25日	実行委員会			

## II 実行委員会（障害者スポーツ推進実行委員会）

### 1. 実行委員会の目的

構成団体の連携と基盤づくり及び障害者スポーツの環境整備

### 2. 実行委員会の構成

学識経験者	久留米大学准教授 築上町スポーツ推進委員会
障害者スポーツ関係	(一社)福岡県障がい者スポーツ協会
社会福祉関係	社会福祉法人築上町社会福祉協議会
行政	築上町教育委員会生涯学習課
総合型地域スポーツクラブ	NPO法人しいだコミュニティ倶楽部

### 3. 実行委員会の開催結果

#### (1) 第1回障害者スポーツ推進実行委員会

開催日時：令和3年7月2日

開催場所：築上町中央公民会会議室

[議題]

- ・特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業計画について

[意見]

- ・事業に「ゆるスポーツ」を取り入れたらどうか
- ・学校で競技性スポーツの実施の提案
- ・学校を拠点に活動できる場所を働きかけることも必要ではないか

#### (2) 第2回障害者スポーツ推進実行委員会

開催日時：令和4年3月25日

開催場所：築上町中央公民会会議室

[議題]

- ・特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業報告について
- ・来年度の事業について

[意見]

- ・卒業生が学校で活躍できる場が欲しいのではないか
- ・事業実施にあたり、障害者スポーツボランティアスタッフ養成講習会の受講者の実績づくりができたのではないか。
- ・今後の事業実施にあたり、学校、行政を含めたルール作りが必要ではないか。
- ・コロナ禍で見えた新たな課題が見つかったのではないか。
- ・児童・生徒、教師から来年度もぜひ続けてほしいとの要望があり、来年度も実施していきたい。

### Ⅲ 地域における障害者スポーツの実施機会の提供

#### 1. 築城特別支援学校を会場としたスポーツ屋台村の開催

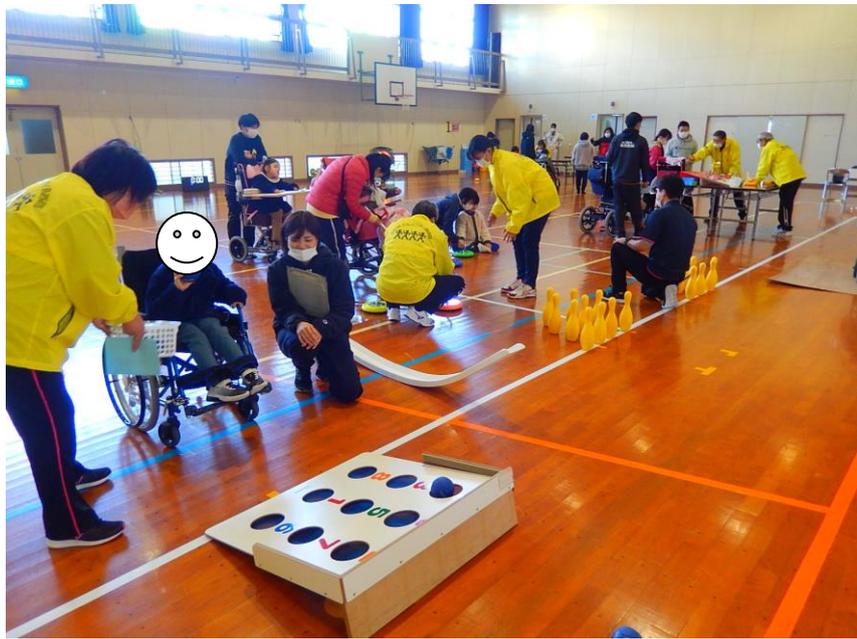
##### <実施内容及び目的>

学校では体験では体験できない、ニュースポーツの楽しさと良さを味わう体験を通じて、幾度もチャレンジするなど自分の力を発揮しようとする力の育成に取り組む。

##### <実施方針>

屋台村の実施について、特別支援学校とニュースポーツの内容等を協議し実施。

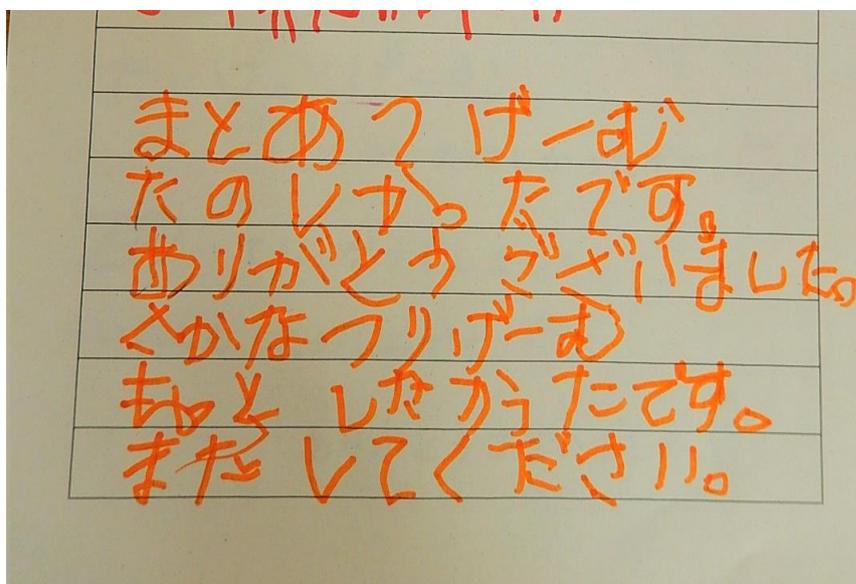
日 時	令和3年12月10日（金）9：00～12：30
場 所	築城特別支援学校
参加人数	知的小学部 低学年（1～2年）23名、中学年（3～4年）15名、高学年（5～6年）35名 計73名、
内 容	球入れ、ピンポン球運び、釣りっこ、風船飛ばし、ボトル巻き上げ、ターゲットゲーム
意 見	・学校ではできない体験体験ができるため、次年度もぜひ実施してほしい ・学校にない道具が充実していて、普段できないことができる貴重な時間となったので、今後も続けてほしい
写 真	

日時	令和3年12月13日(月) 9:00~12:30
場所	築城特別支援学校
参加人数	知的中学部1,3年29名、2年25名 肢体小、中26名 計80名
内容	知的：だるま落とし、球入れ、ピンポン球運び、風船飛ばし、 ボトル巻き上げ、ストラックアウト、 肢体：球入れ、パチンコゴール、カローリングボール、 ビンゴボッチャ
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的にスポーツに関わろうとする意識の醸成に繋がると感じました</li> <li>・子ども達が、とても楽しいようで、いい笑顔をたくさん見ることができました。</li> <li>・最後まで集中して楽しめていたので、いろんなスポーツを体験する貴重な機会になったと思う。</li> </ul>
写真	



スポーツ屋台村児童・生徒全員からの感想文（一部）

- 小学部が楽しく遊べるように考えてくださりありがとうございました。例えばボールなどで、あまり手が動かない人でもできるように道具を使っているのが、すごく工夫されていると思いました。みなさんがとても親切にしてくれたので、スポーツ体験が終わったあと、友達に「今日のスポーツ体験楽しかった」ときくと「うん！スポーツ体験のひとつたちがやさしかったからのしかったよ」と言っていました。来年も来てくれるとうれしいです。ありがとうございました。
- きょうはありがとうございました。  
たま入れが楽しかったです。  
また、ニュースポーツがあったらしたいので、たのしみにしているのもまたきてください。  
また、来年もあたらしいスポーツをしたいです。つぎは、ニュースポーツで勝ちたいです。  
来年もしたいのです。お願いします。



## 2. 障害者スポーツボランティアスタッフ養成講習会

### <実施内容及び目的>

講義や実技体験を通じて町民が障害者スポーツの理解や基本的な知識を学ぶ。

### <実施方針>

講習会で得た知識を障害者スポーツの事業を行う際の人材活用。

日 時	令和3年7月10日（土）～11日（日） 8：30～16：00
場 所	築上町コミュニティセンターソピア
参加人数	28名
内 容	1日目・映画「ウイニング・パス」鑑賞 失う事で手に入れた生きる事の「本当の意味」 ・講義：太陽の家と障害者スポーツについて ・講義：ユニバーサルスポーツと卓球バレー ・実技：卓球バレー 2日目・講義：障害者スポーツについて ・講義：障害者スポーツのリスクマネジメント ・実技：楽しい障害者スポーツの工夫
意 見	○受講の動機 ・地域でこのようなプロジェクトが行われていることを知り、とても素晴らしいことと思いました。私も施設のスタッフとしてぜひ力になれたらと思いました。 ・娘に視覚に先天性があり、スポーツを続けているので、気持ちや細かいところまで理解するきっかけになればよいと思う。 ○障がい者に対するイメージ ・身体に欠損がある、他者の手助け、補助する道具が必要。いじめ・ハラスメントを受けやし。障がいと一生付き合わないといけない社会で自立するために、ある程度訓練が必要。 ・次男に障がいがあり、息子だったら、どんな事に興味を持ち、そして可能性を見つけてあげたい。 ○障害者スポーツに対するイメージ ・格好いい！パラリンピックなどスポーツをしている方を見ると、自分も頑張らないと勇気をもらう。 ・車イス、義足のイメージが強いです。 ○ボランティアスタッフ活動するときの不安・心配 ・障がいをもっている方への配慮や理解が不足していて、不用意に身体的、精神的に傷つけてしまう事があるのではないかという不安がある。 ・どのように接してよいかと、障害の程度によって接し方の差があるのか？などコミュニケーションが不安。

写 真



### 3. ボッチャ講習会

#### <実施内容及び目的>

初心者でも楽しめるよう、レクリエーションとしてボッチャを体験。  
ルールについて講義やゲーム&審判体験。

#### <実施方針>

学校、施設、職場でのボッチャの普及。

日 時	令和3年12月12日(日) 10:00~17:00
場 所	築上町コミュニティセンターソピア
参加人数	36名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：ボッチャについて</li> <li>・実技：ゲーム&amp;審判体験</li> <li>・実技：グループ分けをしてミニ大会</li> <li>・実技：優勝チームは銀メダリスト木谷氏と対決</li> </ul>
意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リオデジャネイロパラリンピックボッチャ銀メダリスト木谷隆行氏の話や、銀メダルを手にとって感動した。</li> <li>・ルール、審判について講師の解りやすい説明が良かった。</li> <li>・自治会で普及したい。</li> </ul>
写 真	

### 4. みんなで楽しむ地域のスポーツ大会

#### <実施内容及び目的>

誰もが安心して快適な生活を送ることができる共生社会の実現

#### <実施方針>

障がいの有無にかかわらず、様々な年代が楽しめるボッチャ競技を行う事で、地域でボッチャを広め、併せて、障がいに対する理解を深め、地域交流を進める

日 時	令和4年3月20日(日) 9:00~12:00
場 所	築上町コミュニティセンターソピア
参加人数	16チーム(特別支援学校3、障がい者施設3、自治会4、行政1、しいコミ4) 延べ75名

内 容	<p>ボッチャ交流大会  予選は障がい者、健常者のグループでリンク戦  決勝はトーナメント戦  決勝トーナメントに進出できなかったチームは交流戦を実施</p>
意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのボッチャでしたがルールが簡単であった</li> <li>・ボッチャを知らなかったがとても楽しかった</li> <li>・白熱するスポーツで楽しかった</li> <li>・初めての大会であったが、障害者スポーツセンターの指導員が審判長として参加・指導頂き、スタッフも12月に受講したボッチャ講習会の受講を活かして、運営がスムーズに行えた</li> </ul>
写 真	

#### IV 成果及び今後の方針

##### 〈成果〉

高等部を除く知的障がい教育部門（小学部、中学部、）、肢体不自由教育部門（小学部、中学部、）全児童・生徒を対象に実施。スポーツ屋台村では学校での体育授業では体験できない、ニュースポーツの楽しさと良さを味わう体験を通して、学習能力の機会や幾度もチャレンジするなど自分の力を発揮しようとする力を育成することができた。

障害者スポーツボランティア養成講習会では講義や実技体験を通じて町民が障害者スポーツの理解や基本的な知識を学び、講習会で得た知識を町内において障害者スポーツ関係の事業を行う際の人材活用につながった。

また、みんなで楽しむ地域のスポーツ大会当を通じた「心のバリアフリー」事業を継続的に実施し、健常者・障がいの垣根を無くし、誰もが安心して快適な生活を送ることができる社会の一つに契機となった。

##### 〈今後の方針〉

- ・特別支援学校と連携し、年間を通して定期的・継続的にスポーツ活動を行うことができるよう障害者スポーツ指導員の派遣を行う
- ・地域における障がいの年間の運動スポーツ機会の向上
- ・当該地域における障害者の週1回以上のスポーツ実施率の向上

等の取り組みにより、特別支援学校は勿論、障害福祉施設における障害者スポーツの普及促進に継続的にスポーツに取り組める環境整備を図っていきたい。